

『 湯沢市小中学校施設(構造体)の耐震化の状況 』

【 各学校施設の状況 】

項目	学校名 (学校数)	耐震基準			備考
		新基準	旧基準		
		診断の必要無 (S57以降建築)	補強済又は 診断結果で 補強の必要無	補強工事又は 改築が必要	
小学校	湯沢東	○			H22年度 改築工事完了 (湯沢北小、岩崎小と統合)
	湯沢西	○			
	三関	○			
	山田	○			
	須川	○			H23年度 高松小と統合
	稲庭	○			
	三梨	○			
	川連	○			
	駒形	○			
	雄勝	○			H27年度 開校 (雄勝地域内4小学校の統合校)
	皆瀬	○			
小計	11校	11校	0校	0校	

項目	学校名 (学校数)	耐震基準			備考
		新基準	旧基準		
		診断の必要無 (S57以降建築)	補強済又は 診断結果で 補強の必要無	補強工事又は 改築が必要	
中学校	湯沢北	○			H22年度 改築工事完了
	山田		○		H26年度 補強工事完了
	湯沢南		○		校舎(H25年度 補強工事完了) 体育館(H22年度 補強工事完了) H27年度 須川中と統合
	稲川		○		H16年度 補強工事完了
	雄勝		○		校舎・体育館(H25年度 補強工事完了) 雄心館(H26年度 補強工事完了)
	皆瀬		○		H17年度 補強工事完了
小計	6校	1校	5校	0校	

小中合計	17校	12校	5校	0校	
------	-----	-----	----	----	--

【耐震化率について】

平成27年4月1日現在

学 校 種 別	全 棟 数 a	耐震性あり b	要 改 修	耐 震 化 率 b / a
小 学 校	30棟	30棟	0棟	100.0%
中 学 校	22棟	22棟	0棟	100.0%
全 体 (合 計)	52棟	52棟	0棟	100.0%

※耐震化率とは、学校施設全体における「建築基準法に規定する耐震性能がある構造体」と推計される施設の割合です。（学校施設は複数の棟で形成）

全 国 平 均	95.6%
秋 田 県 平 均	97.1%
湯 沢 市	100.0%

※ 平成27年4月1日現在の数値です。

【学校施設の耐震化の取組みについて】

これまで本市は学校施設の耐震化について順次行ってまいりましたが、平成23年3月に「湯沢東小学校・湯沢北中学校」の一体型校舎が完成し、小学校の耐震化率は100%となっております。

また、平成26年度に「山田中学校」「雄勝中学校雄心館」の耐震補強に関する工事が完了し、中学校の耐震化率は100%となっており、学校施設全体としての耐震化率は、100%となっております。

(参 考)

平成7年に発生した阪神淡路大震災時の文部科学省調査結果で、新耐震基準施行（昭和56年）（下図「ロ」「ハ」）以前に建築された建物の被害がひどく、とりわけ昭和46年の建築基準法施行令改正以前（下図ハ）に建築された学校施設では、倒壊又は崩壊した例が見られ、逆に新耐震基準施行後（下図イ）に建築された建物については、それほど大きな被害を受けていないことが、明らかにされています。

・ 建築基準法改正の参考図

